

惑星

わ

く

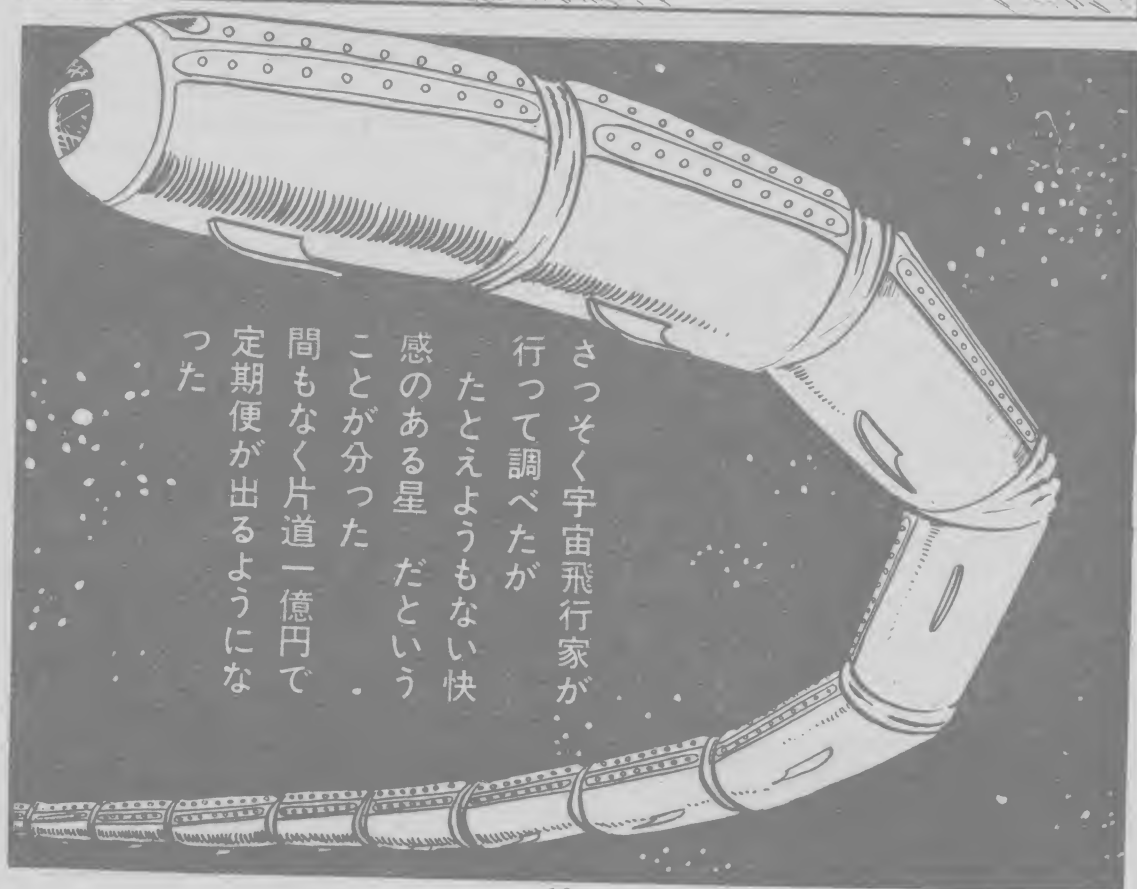
せ

い

水木しげる



ある日、とつぜん
月と地球の間に
惑星が現われた

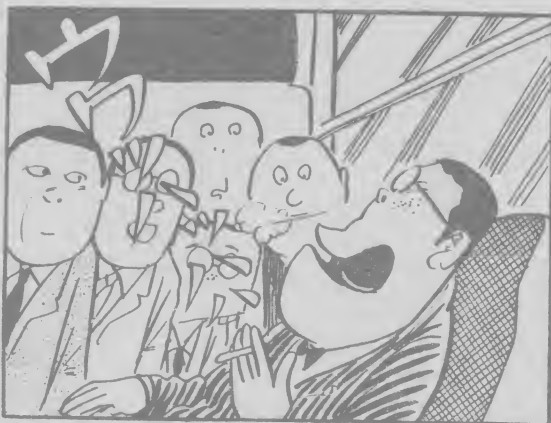


さつそく宇宙飛行家が
行つて調べたが
たえようもない快
感のある星、だとい
うことが分つた。
間もなく片道一億円で
定期便が出るようにな
つた。









惑星はさきほどとつぜん
猛烈なスピードで
暗黒星雲のあなたに
姿を消しました

まあ

これによりまして
地球に貧乏を
もたらしていた
悪質な金持ち
が姿を消しま
したので

明日から
ビフテキは
平等に配給され
サラリーマンは
五時間働けば
よいことな
りました

いよいよ
地球がパラ
ダイスに
なるの
ね

地球の毒素が
一掃された
のだよ

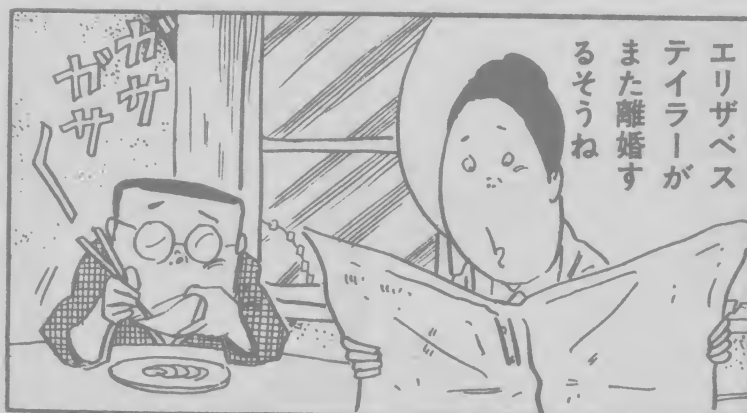
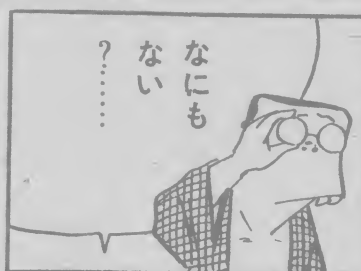
するとあなた
は「先見の明
があつたと
いうわ
けね
みなおし
たわ

まあね
……

かくして
つつましくかな
幸福が地球全土
をおおい長く平
和であつたとか

あなた
もう時間
よ

今日から本物の
ビフテキが
食べら
れる
んだ
った
な



完